



分析

- GET : SMA カウントの要約の取得, 2 ページ
- GET : 要約タイプを指定した、SMA カウントの要約の取得, 4 ページ
- GET : ハッシュタグを指定した、すべての SMA カウントの要約の取得, 6 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの滞留時間明細の取得, 8 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたパスの取得, 13 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの製造者明細の取得, 15 ページ
- GET : すべての KPI 要約の取得, 20 ページ
- GET : 特定の KPI 要約一式または利用可能な KPI 要約リストの取得, 21 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで接続および検出されたデバイスの明細の取得, 22 ページ
- GET : 単一の多頭的階層要素とタイムフレームを指定した、デバイス数に対するアラートの取得, 26 ページ
- GET : 単一の多頭的階層要素を指定した、デバイス数に対するアラートの取得, 27 ページ
- GET : デバイス数に対するアラートの取得, 28 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたキュー時間の取得, 29 ページ
- POST : パンフレット ビューのターゲット エリアに関する概要データの取得, 32 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測された滞留時間の取得, 35 ページ
- POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの数の取得, 39 ページ

GET : SMA カウントの要約の取得

説明

要約タイプ（肯定的、否定的、写真、中立、合計、再投稿）の詳細を指定して、ソーシャルメディア分析（SMA）カウントの要約を取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/sma/summarycounts

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 1 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
場所	Y	—	文字列	query	ソーシャルメディア分析の対象とするロケーションID。有効な値/形式には、ビルまたはキャンパスのロケーションIDがあります。
dailyHours	Y	—	文字列	query	時間帯。事前定義された名前指定します。有効な値/形式は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • morning hours • business hours • evening hours • all day

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
period	Y	—	文字列	query	対象の期間。事前定義された名前のいずれかで指定します。有効な値/形式は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• today• yesterday• this week• last week• last 2 weeks• last month• this month• last 3 months• this year• last year

コンテンツ タイプ

application/json

GET : 要約タイプを指定した、SMA カウントの要約の取得

説明

要約タイプ（肯定的、否定的、写真、中立、合計、再投稿）の詳細を指定して、SMA カウントの詳細な要約を取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/sma/detailsummarycounts

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 2 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
場所	Y	—	文字列	query	ソーシャルメディア分析の対象とするロケーション ID。有効な値/形式は、ビルまたはキャンパスのロケーション ID です。
dailyHours	Y	—	文字列	query	時間帯。事前定義された名前で指定します。有効な値/形式は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • morning hours • business hours • evening hours • all day

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
period	Y	—	文字列	query	<p>対象の期間。事前定義された名前のいずれかで指定します。有効な値/形式は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • last month • this month • last 3 months • this year • last year
summaryType	Y	—	文字列	query	<p>対象とする要約タイプ。事前定義された名前のいずれかで指定します。有効な値/形式は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • positives • negatives • reposts • photos • neutral • total

コンテンツ タイプ

application/json

GET : ハッシュタグを指定した、すべての SMA カウントの要約の取得

説明

要約タイプ（肯定的、否定的、写真、中立、合計、再投稿）の詳細を指定して、すべての SMA カウントの要約を取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/sma/hashtags

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 3 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
場所	Y	—	文字列	query	ソーシャルメディア分析の対象とするロケーションID。有効な値/形式は、ビルまたはキャンパスのロケーションIDです。

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
period	Y	—	文字列	query	対象の期間。事前定義された名前のいずれかで指定します。有効な値/形式は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• today• yesterday• this week• last week• last 2 weeks• last month• this month• last 3 months• this year• last year

コンテンツタイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの滞留時間明細の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 4 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	目的の細分度。	<ul style="list-style-type: none"> • hourly • daily • weekly • monthly • yearly • tag • タグ名 • 階層レベル。上位 n 件の結果（カウントが高い順から n 件の結果）に制限するには $[n]$ を追加し、下位 n 件の結果に制限するには $[-n]$ を追加します。

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
timeRange	各日で対象とする時間枠。値「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、タグ名または階層レベルのみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
aggregate	細分度で滞留時間を集計します。たとえば、個々の日付ではなく、週の各日の滞留時間合計を表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> • none • sum • avg
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが考慮されます。	エリア ID のカンマ区切りリスト、または階層レベル。
durationCategories	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、 <i>nn</i> は対象とする滞留時間の下限（分単位）、 <i>mm</i> は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します（デフォルトは false です）。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
connectionState	接続されたデバイスまたは検出されたデバイスのどちらかに制限するかどうかを指定します (デフォルトは all です)。	<ul style="list-style-type: none"> • connected • detected • all
percentageOf	このパラメータを設定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。	階層レベル
dwelimits	滞留デバイスをグループ化する方法を指定する滞留時間制限。すべてを取得する場合は -1 を渡します。例：100 (軽度)、200 (中程度)、-1 (重度)	<ul style="list-style-type: none"> • デフォルト • 分 • label:limit 値のカンマ区切り制限

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • descendantOf • subsetOf : カンマ区切り ID
expandAll	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/dwellBreakdown

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 5 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツタイプ

application/json

出力例

```
{ "title": "CMX Error", "detail": "period must be in yyyy-MM-dd[;yyyy-MM-dd] format if not one of the predefined types.If passing two dates, they should be in order timeRange must be specified as HH:mm-HH:mm, or 'now' ", "httpStatus": 500 }
```

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたパスの取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 6 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
timeRange	各日で対象とする時間枠。「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、タグ名または階層レベルのみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
targetArea	パスの対象とするエリアの ID。	パスの対象とするエリアの ID。
allAreas	対象とするエリアのリスト。	エリア ID のカンマ区切りリスト

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	地理に関する目的の細分度。このパラメータは、「allAreas」にリストされているエリアを、該当するレベルのそれぞれの子孫エリアに置換します。	階層レベル
durationCategories	ターゲット エリアまたはすべてのエリアについて、デバイスを時間帯で絞り込みます。	nn-mm 形式の時間。ここで、nn は下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/path

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 7: パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツ タイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの製造者明細の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 8 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	目的の細分度。上位 n 件の結果（カウントが高い順から n 件の結果）に制限するには [n] を追加し、下位 n 件の結果に制限するには [-n] を追加します。 granularity に null を指定すると、エリアでカバーするすべての階層タイプが返されます。	<ul style="list-style-type: none">• hourly• daily• weekly• monthly• yearly• tag• タグ名• 階層レベル• null

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
yAxis	個々のアクセスについてレポートするか、アクセスをデバイス別に集計するかを指定します（デフォルトでは、デバイスが返されます）。	<ul style="list-style-type: none"> • absoluteDevices • absoluteVisits
timeRange	各日で対象とする時間枠。「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、タグ名または階層レベルのみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
aggregate	細分度で滞留時間を集計するかどうかを指定します。たとえば、個々の日付ではなく、週の各日の合計を表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> • none • sum • avg
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが考慮されます。	エリア ID のカンマ区切りリスト、または階層レベル

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
durationCategories	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、nn は対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します（デフォルトは false です）。	<ul style="list-style-type: none">• none• sum• avg
connectionState	接続されたデバイスまたは検出されたデバイスのどちらかに制限するかどうかを指定します（デフォルトは all です）。	<ul style="list-style-type: none">• connected• detected• all
percentageOf	このパラメータを設定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。	階層レベル

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • descendantOf • subsetOf : カンマ区切り ID
expandAll	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/manufacturers

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 9: パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツタイプ

application/json

GET : すべての KPI 要約の取得

説明

この API は、KPI のすべての要約を取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/summary

OAuth の必要性

N

パラメータ

なし。

コンテンツ タイプ

application/json

GET : 特定の KPI 要約一式または利用可能な KPI 要約リストの取得

説明

この API は、特定の KPI 要約一式または利用可能な KPI 要約リストを取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/summary/:summaryItem

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 10 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
summaryItem	Y	—	文字列	pathReplace	対象とする KPI 要約のカンマ区切りリスト、または利用可能なメトリックのリストを表示する場合は「availableMetrics」。

コンテンツ タイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで接続および検出されたデバイスの明細の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 11 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	使用する細分度。上位 n 件の結果（カウントが高い順から n 件の結果）に制限するには [n] を追加し、下位 n 件の結果に制限するには [-n] を追加します。 granularity に null を指定すると、エリアでカバーするすべての階層タイプが返されます。	<ul style="list-style-type: none"> • hourly • daily • weekly • monthly • yearly • tag • tag-name • heterarchy level • null

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
timeRange	各日で対象とする時間枠。「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、tag-name または heterarchy level のみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
aggregate	細分度で滞留時間を集計するかどうかを指定します。たとえば、個々の日付ではなく、週の各日の合計を表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> • none • sum • avg
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが対象となります。	エリア ID または階層レベルのカンマ区切りリスト
durationCategories	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、nn は対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します（デフォルトは false です）。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
percentageOf	このパラメータを指定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。	階層レベル
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • descendantOf • subsetOf : カンマ区切り ID
expandAll	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/connectedDetected

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 12 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツ タイプ

application/json

GET : 単一の多頭的階層要素とタイムフレームを指定した、デバイス数に対するアラートの取得

説明

この API は、特定の要素について、指定されたタイムフレーム内のデバイス数のルールと一致した通知イベントのリストを取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/notifications/deviceCount/:elementId/:timeFrame

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 13: パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
elementId	N	—	文字列	pathReplace	対象とする多頭的階層要素の数值 ID。
timeFrame	N	—	文字列	pathReplace	タイムフレームを定義する時間（分単位）。 たとえば、timeFrame=60 と指定すると、過去1時間の通知アラートが取得されます。

コンテンツ タイプ

application/json

GET : 単一の多頭的階層要素を指定した、デバイス数に対するアラートの取得

説明

特定の要素について、デバイス数のルールと一致した通知イベントのリストを取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/notifications/deviceCount/:elementId

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 14 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
elementId	N	—	文字列	pathReplace	対象とする多頭的階層要素の数値 ID。

コンテンツ タイプ

application/json

GET : デバイス数に対するアラートの取得

説明

デバイス数のルールと一致した通知イベントのリストを取得します。

HTTP メソッド

GET

リソース URI

/api/analytics/v1/notifications/deviceCount

OAuth の必要性

N

パラメータ

なし。

コンテンツ タイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたキュー時間の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 15 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • tag • 階層レベル
timeRange	各日で対象とする時間枠。「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、タグ名または階層レベルのみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
	キューを開始したとみなされるエリア。ゾーンだけがサポートされます。	エリアの ID

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	目的の細分度。	<ul style="list-style-type: none"> • fifteen min • hourly • daily • weekly • monthly • yearly
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • descendantOf • subsetOf : カンマ区切り ID

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false
	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、nn は対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/queue

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 16 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツ タイプ

application/json

POST : パンフレットビューのターゲットエリアに関する概要データの取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 17: パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
type	要求するデータのタイプ。	<ul style="list-style-type: none"> • deviceCount • deviceDwell • grossShopping • deviceCrossover • connectedDetected • dwellBreakdown
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
timeRange	各日で対象とする時間枠。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが考慮されます。	エリア ID のカンマ区切りリスト、または階層レベル
durationCategories	特定の滞留時間範囲でカウントを分類するかどうかを指定します。	nn-mm。ここで、nnは対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します（デフォルトは false です）。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false
entirePeriod	期間全体を通して任意の時間にアクセスしたデバイスを含めるか、特定の日にアクセスしたデバイスだけを含めるかを指定します（デフォルトは false です）。 クロスオーバーにのみ適用されます。その他のメトリックでは無視されます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false
connectionState	接続されたデバイスまたは検出されたデバイスのどちらかに制限するかどうかを指定します（デフォルトは all です）。 接続/検出メトリックでは、この設定は無視されて、「all」が適用されます。	<ul style="list-style-type: none"> • connected • detected • all
percentageOf	このパラメータを設定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。クロスオーバー レポートでは無視されます。	階層レベル

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
dwellLimits	滞留デバイスをグループ化する方法を指定する滞留時間制限。すべてを取得する場合は -1 を渡します。例：100（軽度）、200（中程度）、-1（重度）	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト label:limit 値のカンマ区切り制限

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/overview

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 18 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツタイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測された滞留時間の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータです。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 19 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	<p>目的の細分度。上位 n 件の結果（カウントが高い順から n 件の結果）に制限するには $[n]$ を追加し、下位 n 件の結果に制限するには $[-n]$ を追加します。</p> <p><code>granularity</code> に <code>null</code> を指定すると、エリアでカバーするすべての階層タイプが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • hourly • daily • weekly • monthly • yearly • tag • タグ名 • 階層レベル • null

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
timeRange	各日で対象とする時間枠。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
aggregate	細分度で滞留時間を集計するかどうかを指定します。たとえば、個々の日付ではなく、週の各日の合計を表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> • none • sum • avg
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが考慮されます。	エリア ID のカンマ区切りリスト、または階層レベル
durationCategories	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、nn は対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
connectionState	接続されたデバイスまたは検出されたデバイスのどちらかに制限するかどうかを指定します (デフォルトは all です)。	<ul style="list-style-type: none"> • connected • detected • all
percentageOf	このパラメータを設定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。	階層レベル
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • descendantOf • subsetOf : カンマ区切り ID
expandAll	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/deviceDwell

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 20 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツ タイプ

application/json

POST : 特定の期間に特定のエリアで観測されたデバイスの数の取得

説明

パラメータを格納する JSON 配列が、唯一のパラメータ（本体）です。以下に、JSON 配列に格納されるパラメータについて説明します。

表 21 : パラメータの詳細

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
granularity	目的の細分度。上位 n 件の結果（カウントが高い順から n 件の結果）に制限するには [n] を追加し、下位 n 件の結果に制限するには [-n] を追加します。 granularity に null を指定すると、エリアでカバーするすべての階層タイプが返されます。	<ul style="list-style-type: none">• hourly• daily• weekly• monthly• yearly• tag• タグ名• 階層レベル• null

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
period	対象の期間。日付範囲または事前定義された名前のいずれかで指定します。	<ul style="list-style-type: none"> • yyyy-mm-dd • yyyy-mm-dd;yyyy-mm-dd • today • yesterday • this week • last week • last 2 weeks • this month • last month • last 3 months • this year • last year • forever
timeRange	各日で対象とする時間枠。「now」を指定する場合、細分度として指定できるのは、タグ名または階層レベルのみとなります。	<ul style="list-style-type: none"> • HH:mm-HH:mm • now
aggregate	細分度で滞留時間を集計するかどうかを指定します。たとえば、個々の日付ではなく、週の各日の合計を表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> • none • sum • avg
areas	対象とするエリアのリスト。指定しない場合、すべてのエリアが考慮されます。	エリア ID のカンマ区切りリスト、または階層レベル
durationCategories	特定の時間範囲で滞留時間を分類するかどうかを指定します。	nn-mm エントリのカンマ区切りリスト。ここで、nn は対象とする滞留時間の下限（分単位）、mm は上限（分単位）です。
includeStationary	固定デバイスを含めるかどうかを指定します（デフォルトは false です）。	<ul style="list-style-type: none"> • true • false

JSON 配列に格納されるパラメータ	説明	有効な値/形式
connectionState	接続されたデバイスまたは検出されたデバイスのどちらかに制限するかどうかを指定します (デフォルトは all です)。	<ul style="list-style-type: none"> connected detected all
percentageOf	このパラメータを設定すると、絶対値ではなく、相対的割合がレポートされます。	階層レベル
areaFilter	<p>このパラメータを設定すると、フィルタと一致するエリアに結果が絞り込まれます。エリアの選択を絞り込むには、「descendantOf」を使用します。このオプションを使用して、レポートをドリルダウンします。細分度を絞り込むには、「subsetOf」を使用します。このオプションにより、細分度としてタグが使用されます。</p> <p>descendantOfの例：キャンパス C1 にゾーン Z1 と Z2 のビル B1 があり、キャンパス C2 にゾーン Z3 のビル B2 があります。この場合、area=Z1,Z2,Z3、granularity=Building、areaFilter=descendantOf:C1 と設定してクエリを実行すると、ビル B1 だけが返されます。</p> <p>subsetOfの例：タグ T1,T2 は F1 に、T2,T3 は F2 に、T3,T4 は F3 に割り当てられています。この場合、area=F1,F2,F3、granularity=tag、areaFilter=subsetOf:T1,T2 と設定してクエリを実行すると、T1,T2 だけが返されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> descendantOf subsetOf : カンマ区切り ID
expandAll	結果に要素のすべての子孫要素を含めます。	<ul style="list-style-type: none"> true false

HTTP メソッド

POST

リソース URI

/api/analytics/v1/deviceCount

OAuth の必要性

N

パラメータ

表 22 : パラメータの詳細

名前	必須	デフォルト	タイプ	場所	説明
body	Y	—	JSON 配列	body	パラメータが格納された JSON 配列。

コンテンツ タイプ

application/json